

# 記載例

様式第六（第八条関係）

## 特定施設設置届出書

平成 年 月 日

伊勢崎市長 様

代表者を記載し、  
代表者印を押印する。

届出者 住 所 伊勢崎市今泉町2丁目410

電話番号

氏名・名称 伊勢崎市(株)

代 表 者 代表取締役 伊勢崎 太郎 ⑩

下水道法第12条の3第1項（下水道法第25条の10第1項において準用する同法第12条の3第1項）の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	伊勢崎市(株) あずま生産工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	伊勢崎市東町2668	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	第65・66号	※施設番号
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※審査結果
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備 考
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△下水の量及び水質	別紙4のとおり。	
	△用水及び排出の系統	別紙5のとおり。	

- 備考1 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

## 別紙 1

## 特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	001	002	003
特定施設号番号及び名称	65号 酸又はアルカリによる 表面処理施設	同左	66号 電気めっき施設
型 式	IR-5型 (半自動型)	同左	IP-6 自動メッキ施設 (全自動型)
構 造	鉄フレーム 塩化ビニール製 耐薬品仕上げ	同左	同左
主要寸法	L 1800 mm W 800 mm H 1800 mm	同左	L 7000 mm W 1300 mm H 1800 mm
能 力	プリント基板 1000 個/日	同左	プリント基板 2000 個/日
配 置	別添図面第1のとおり	同左	同左
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
その他参考となるべき事項	平成○○年○月○日に、 当該届出の場所に工場を 新設したい。	同左	同左

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙 2

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号		001、002		003	
特定施設番号及び名称		65号 酸又はアルカリによる表面処理施設		66号 電気めっき施設	
設置場所		別添図面第1のとおり		同左	
操業の系統		別添図面第2のとおり		同左	
使用時間間隔		8:00~12:00 13:00~18:00		8:00~12:00 13:00~17:00	
1日当たりの使用時間		9時間		8時間	
使用の季節的変動		なし		なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		原材料名：硫酸 使用方法：10%溶液として塗膜除去。 使用量：原液（98%）として50 l/日		原材料名：①トリクロロエチレン ②青酸ソーダ ③塩化亜鉛 ④クロム酸 使用方法：①原液のまま脱脂剤として使用。 ②～④については、1%水溶液として、メッキ剤として使用。 使用量：① 原液10 l/日 ② 10 kg/日 ③ 5 kg/日 ④ 2 kg/日	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	1~2	2	1~2	2
	BOD	80	100	20	30
	SS	2000	2500	800	900
	n-hex抽出物質含有量	10	15	3	5
	銅含有量	20	30	20	30
	亜鉛含有量	20	30	20	30
	溶解性鉄含有量	16	20	16	20
	クロム含有量			18	25
	シアン化合物			20	250
六価クロム化合物			1	2	
トリクロロエチレン			0.5	1	
		※単位：pH（無単位） 大腸菌群数（個/cm <sup>3</sup> ）		それ以外のものはmg/l	
汚水等の量（m <sup>3</sup> /日）		通常	最大	通常	最大
		50	60	30	40
その他参考となるべき事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、運転前に施設の点検を行う。</li> <li>・薬液の交換は、2回/月程度</li> <li>・廃液は中和処理して、排水処理施設へ排出。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○有害物質使用特定施設</li> <li>・同左</li> <li>・薬液の交換は、1回/月程度</li> <li>・トリクロロエチレンは全量回収で業者委託処分。</li> <li>・他は、排水処理施設へ排出</li> </ul>	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

## 汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	1 酸アルカリ系排水処理施設	2 メッキ排水処理施設							
処理施設の設置場所	別添図面第3のとおり	別添図面第3のとおり							
設置年月日	年 月 日	年 月 日							
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日							
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日							
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日							
種類及び型式	PM-80型バッチ式排水処理施設	VG-40型バッチ式排水処理施設							
構造	鉄筋コンクリート製	同左							
主要寸法	L 9000 mm W 8000 mm H 3000 mm	L 8500 mm W 7500 mm H 3000 mm							
能力	80 m <sup>3</sup> /日	40 m <sup>3</sup> /日							
処理の方式	中和・凝集沈殿	イオン中和・凝集沈殿							
処理の系統	別添図面4のとおり	別添図面4のとおり							
集水及び導水の方法	別添図面5のとおり	別添図面5のとおり							
使用時間間隔	8:00~20:00	8:00~20:00							
1日当たりの使用時間	12時間	12時間							
使用の季節変動	なし	なし							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	硫酸 (pH調整) 原液60 l/日 水酸化ナトリウム (pH調整) 原液40 l/日 高分子凝集剤 (凝集剤) 1 kg/日	次亜塩素酸Na (シアン分解) 原液50 l/日 硫酸 (pH調整) 原液100 l/日 塩化第二鉄 (凝集剤) 5 kg/日 高分子凝集剤 (凝集剤) 1 kg/日 亜硫酸Na (クロム還元) 5 kg/日 イオン交換樹脂 (イオン交換) 交換月1回 30 kg							
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	1~2	7.0	2	7.5	1~2	7.0	2	7.5
	BOD	80	10	100	15	20	10	30	15
	SS	2000	20	2500	30	800	20	900	30
	n-hex抽出物質含有量	10	1	15	2	3	1	5	3
	銅含有量	20	1.0	30	2.0	20	1.0	30	2.0
	亜鉛含有量	20	0.7	30	1.5	20	0.7	30	1.5
	溶解性鉄含有量	16	2.0	20	3.0	16	2.0	20	3.0
	クロム含有量					18	1.0	25	2.0
	シアン化合物					20	ND	250	0.5
	六価クロム化合物					1	ND	2	0.2
トリクロロエチレン					0.5	ND	1	0.1	
量 (m <sup>3</sup> /日)	50	50	60	60	30	30	40	40	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	金属沈殿物 2t/月 業者委託処理 (〇〇産業)				・金属沈殿物 1t/月 業者委託処理 (〇〇産業) ・トリクロロエチレン (2.5%含有) 0.2t/日 業者委託処理 (〇〇化学)				
排出水の排出方法	別添図面第6のとおり				別添図面第6のとおり				
その他参考となるべき事項	株〇〇メンテナンスに運転管理委託 (2回/月) TEL: 0270-〇〇〇〇-〇〇〇〇								

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙 3-2

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	3 生活系排水処理施設								
処理施設の設置場所	別添図面第○のとおり								
設置年月日	○年 ○月 ○日								
工事着手予定年月日	年 月 日								
工事完成予定年月日	年 月 日								
使用開始予定年月日	年 月 日								
種類及び型式	EM-20型合併処理浄化槽								
構造	FRP製								
主要寸法	L 4000 mm W 3000 mm H 2000 mm								
能力	20 m <sup>3</sup> /日								
処理の方式	活性汚泥								
処理の系統	別添図面○のとおり								
集水及び導水の方法	別添図面○のとおり								
使用時間間隔	0:00~24:00								
1日当たりの使用時間	24時間								
使用の季節変動	なし								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	次亜塩素酸カルシウム 3 kg/日								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6~9	7.0	9	7.5				
	BOD	60	15	80	20				
	SS	80	20	90	25				
	n-hex抽出物質含有量	8	5	10	5				
	大腸菌群数	8000	500	10000	1000				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 余剰汚泥 1 t/月 含油汚泥 (油水分離槽) 0.5 t/月 業者委託処理 (○○産業)								
排出水の排出方法	別添図面第6のとおり								
その他参考となるべき事項	○○整備㈱に運転管理委託 (2回/月) Tel: 0270-○○○○-○○○○								

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

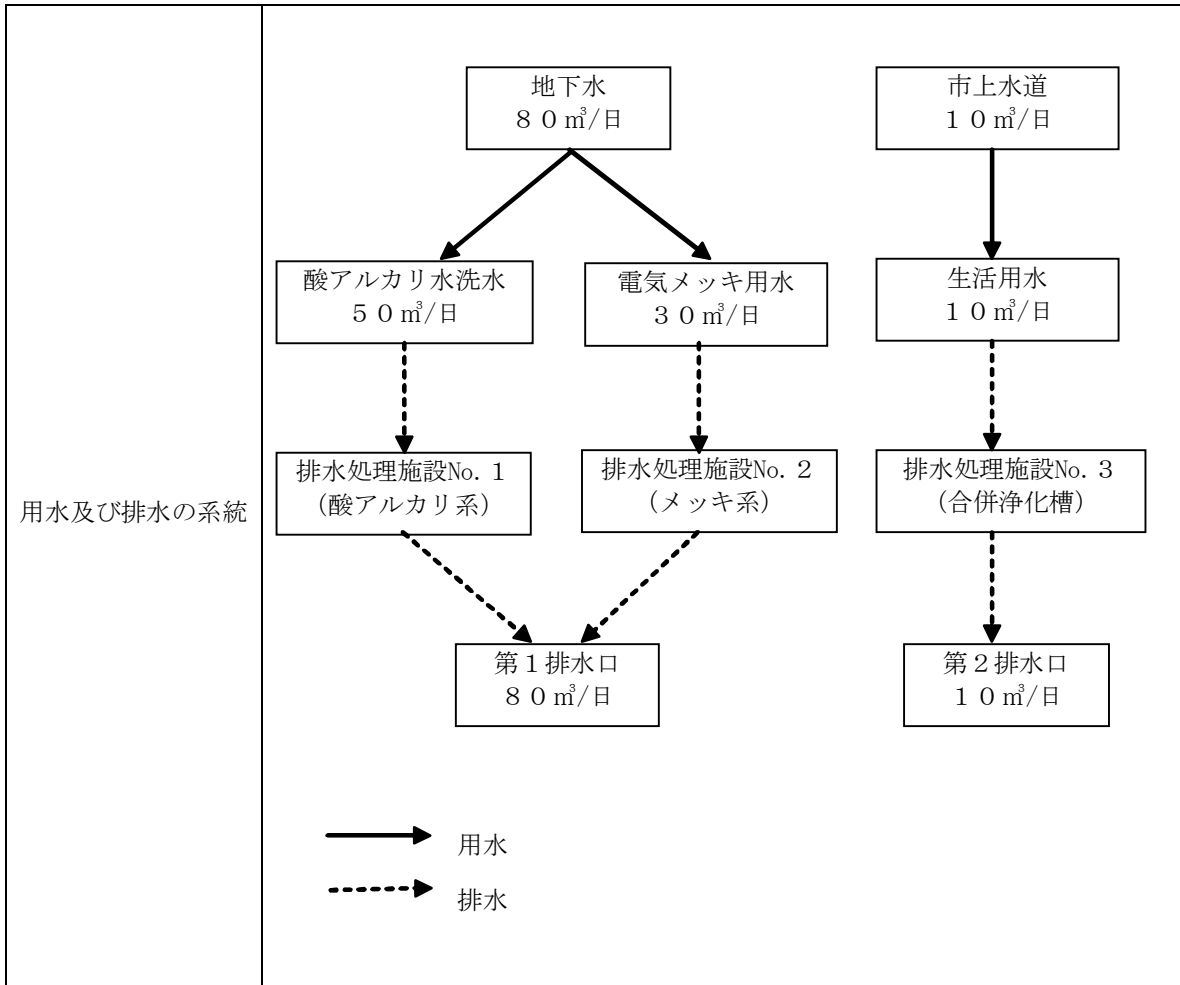
## 別紙4

## 下水の量及び水質

工場又は事業場における施設番号		第1排水口（生産系）		第2排水口（生活排水）	
排水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7.0	7.5	7.0	7.5
	BOD	10	15	15	20
	SS	20	30	30	25
	石油類含有量	1	2	5	5
	窒素含有量	30	60	30	60
	りん含有量	4	8	4	8
	銅含有量	1.0	2.0		
	大腸菌群数			0	1000
	亜鉛含有量	0.5	1.5		
	溶解性鉄含有量	2.0	3.0		
	クロム含有量	0.5	1.0		
	シアン化合物	ND	0.5		
	六価クロム化合物	ND	0.2		
	トリクロロエチレン	ND	0.1		
排水の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大	
	80	100	10	15	
その他参考となるべき事項					

備考 排水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m <sup>3</sup> /日)
		酸アルカリ水洗水	地下水
	電気メッキ用水	地下水	30 m <sup>3</sup> /日
	生活用水	水道水	10 m <sup>3</sup> /日